

図書印刷総会議事録

2016年6月29日

日時：2016年6月29日（水）

場所：図書印刷本社

株主数 4823名、総議決権の個数 86267個
議決権を行使できる株主 2494名 議決権 84993個
出席株主 975名 議決権 76479個

1. 監査役の報告

2. 事業報告等

3. 議案上程（説明）

- 議長より、第1号から第5号議案まで説明
- 第6号議案 提案株主（当社加藤）が提案および提案理由について説明
- 議長が取締役会の反対意見を読み上げ

株主提案は、定款変更により、保有する政策保有株式を速やかに売却するというもの。その理由は以下の通り

- 当社は、2016年3月末現在で約348億円の投資有価証券、そのほとんどを政策保有株式として保有しています。とりわけ、そのうち約319億円は株式会社リクルートホールディング株式の保有によるものです。政策保有株式全体あるいはリクルートホールディング株式だけで見ても、当社の3月末時点の時価総額約413億円と比較して、異常に巨額の有価証券を保有しているとの評価に異論はないでしょう。
- 当社は、「上場株式を政策的に保有する場合、当該会社との関係性強化により収益力向上の観点から有効性を判断する」と説明していますが、株式保有するとなぜ当該会社との関係強化の効果が得られるのか、そしてどのように収益力が向上するのかその因果関係が明らかにされておりません。したがって、政策保有株式と当社の株主価値向上との合理的な因果関係を判断することはできず、それはないと思わざるを得ません。
- 例えば、当社の保有する株式会社リクルートホールディングの3月末の評価である約319億円に対して、昨年の株主総会でお伺いした同社に対する売上は約8%という数字を当てはめると、同社に対する売上は約44

億円に過ぎず、当社の保有する政策保有株式は収益力向上の観点から有効であると到底言えません。

- 一方、当社事業を取り巻く環境は決して楽観できるものではありません。デジタル化の進展などにより、出版印刷事業は業界として 10 年にわたり縮小傾向にあるようであり、当社の営業利益も 2009 年 3 月期以来、それ以前に比較して低迷していると言わざるを得ません。
- そのような環境の中で、当社経営陣が効率的な工場運営やコスト削減等に対して十分な対応をしてきたかについて、同業の中でも低い利益率を見ると疑問があります。
- しかし、当社にとって、上場以前から保有していた株式会社リクルートホールディング株式が上場したことにより大きな価値になったことは、千載一遇のチャンスではないでしょうか。それを売却することにより、多額の代わり金を手にすることができ、それにより新規事業の開発や M & A に充てることができるのです。
- これまでの環境変化への対応が、決して迅速であったと思われぬこともあり、保有する意味の無い株式の売却、そしてその代り金の有効活用を、速やかにして実行していただきたいと思います。さらに株主還元にも使うことにより、当社の株主価値を向上させるべきであります
- なお、今月 2 日に官邸が公表した「日本再興戦略 2016」には、「コーポレートガバナンス改革は、引き続き、アベノミクスのトップアジェンダであり、この改革を形式から実質へと深化させていくことが最優先課題である」と記載され、例えば「政策保有株式の縮減に向けた上場企業の取り組み状況をモニターする」とも言っています。

4. 報告事項及び決議事項に関する質疑応答（質疑は加藤他 3 名）について

(1) IR について

(i) 社長との面談：これまでは矢野常務にはご対応いただいているわけですが、私どもはやはり社長が IR の先頭に立って取り組むことが、投資家の満足度、その企業への信頼を高めるものだと考えます。今後、社長による株主への対応を実施していただきたいと思っておりますが、ご対応いただけませんかでしょうか。

← 川田社長：必要に応じて検討・対応いたします。

(ii) 決算説明会等：当社は、年に一度の決算後の投資家説明会さえ開催しておりません。IR の一環として定期的を開催するお考えはないのでしょうか。

← 矢野常務：開催するにはまだ課題があるが、必要性は理解しており、その実施について検討している

(iii) 中期経営計画の公表：当社は中期経営計画なるものを全く開示しておらず、営業利益の目標はあるものの、資本効率等に関する目標開示も行われていません。今後は、発表する予定があるのでしょうか。

← 矢野常務：できるだけ開示できるような方向で社内で検討している。

(2) ROE について

(i) 他の株主 A からの質問：伊藤レポートで言われている ROE8% に対して、当社は 0.7% とか 0.8% とか、10 分の 1 のレベルである。それを改善するための方策はどう考えているのか

← 矢野常務：分子である利益を高め、あわせて資産の圧縮を図る形で実現していく。重要な課題だと認識している。

(ii) 当社の質問：まさに矢野常務のおっしゃることを実現するのに最適なことが、私どもが提案申しあげている政策株の売却およびその代り金による新規事業開発や M&A ではないでしょうか。去年の総会でも検討するとお伺いしているが、1 年たった今でも何らかの対応がとられていない。本当に検討しているのか、去年の発言はウソだったのか。また、ROE 改善の目標やその改善のための戦略について公表すべきではないか。

← 矢野常務：重要な課題だと受け止め検討を行っている。公表もできるように努めたい。

その後、全会社議案可決、株主提案否決にて終了。